

- 1 単元 プログラミング的思考について学ぼう
- 2 指導計画（2時間完了）
プログラミング的思考について学ぼう・・・・・・・・・・2時間（本時2／2）
- 3 本時の指導

(1) 目標

いろいろな運動を分解し、動きの組み合わせを考えることができる。

(2) 情報活用能力の育成について

学校放送番組を活用して、プログラミング的思考の仕組みを知るとともに、腹筋や背筋などの運動を分解し、動きの組み合わせを考えることができるようにする。

(3) 準備

プロジェクタ、実物投影機、マインドマップ

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 自分が選んだ運動を分解し、動きの組み合わせを考えることを知る。	○ 学校放送番組を活用して、プログラミング的思考における「分解して、動きの組み合わせを考える」ことに取り組んできたことを確認する。 ○ 前時の学習を基に、本時は自分が選んだ運動を分解し、動きの組み合わせを考えることを伝える。
12分	2 運動を分解し、動きを組み合わせる。	○ マインドマップに、分解して考えた動きを書き込ませる。 ○ 運動を分解する際は、一つ一つの動きが細くなるように意識させる。 ○ 動きの組み合わせがうまくいくのか、まずは自分の頭の中で考えてみるように伝える。
15分	3 組み合わせた動きを友達とペアになって実際に試してみる。	○ 自分が考えた動きの組み合わせを実際に友達に実行させることで、改善点を見つけやすくさせる。
5分	4 自分が考えた動きの組み合わせを見直し、再度試してみる。	○ 分解した動きの組み合わせの中で、どの部分に問題があり、どのように改善すればよいかを考えさせる。
10分	5 組み合わせた動きのポイントについて説明する。	○ 動きのポイントを説明させる際には、自分が改

評価事項

- 運動を分解して、動きの組み合わせを考えることができる。【発言・ワークシートの記述内容】
- … 前時で分解した腹筋の動きをもとにして考えさせるようにする。
 - ☆… 自分の動きの組み合わせをよりよいものに修正させたり、友達の考えた動きの組み合わせに対してアドバイスをさせたりする。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動